春季全国火災予防運動

3月1日(木)～3月7日(水)

平成29年度全国統一防火標語

『火の用心　ことばを形に　習慣に』

冬の寒さも峠を越え、火の取扱いに対する注意心が緩みがちになる春先のこの時季は、空気が乾燥し風の強い日が多いことから火災が発生しやすくなっています。「火の用心　ことばを形に　習慣に」を標語に春季全国火災予防運動を実施します。

住宅防火　いのちを守る　7つのポイント

・寝たばこは、絶対やめる。
・ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
・ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。
・逃げ遅れを防ぐため、住宅用火災警報器を設置する。
・寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
・火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
・お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

山火事を起こさないための注意点

・枯れ草等のある火災が起こりやすい場所では、たき火をしないこと。
・たき火等火気の使用中はその場を離れず、使用後は完全に消火すること。
・強風時及び乾燥時には、たき火、火入れをしないこと。
・火入れを行う際、許可を必ず受けること。
・たばこは、指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消すとともに、投げ捨てないこと。
・火遊びはしないこと。

益田広域消防本部・消防署